

発言No.

14

受付No. 20

令和3年 11月 19日

10時50分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番

氏名 西田清久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 若者の定住促進と人口減少対策について

市長の所信表明を伺い、新たに若者が増える施策について別の視点で質問する。

(1) 小規模農業の推進について

- ① 地球環境問題やSDGs（持続可能な開発目標）が浸透してきたこともあり、都市部から地方へ農業移住を考える若者は少なくない。国の政策として農業の大規模化が進められる中、環境に優しい有機農業など小規模農家に対する支援策もUIターン施策として必要と考えるが、市長の所見を問う。

(2) 住宅改修事業について

- ① ふるさと島根定住財団や自治体事業で過去にも実施されていたが、UIターンのための空き家の改修費事業について、予算措置（最低でも200万円以上）をしっかりと講じることで、居住空間が若者に合わせてリノベーションでき、地域経済を含め総合的にも効果が大きいと考えるが、市長の所見を問う。

(3) 若い世代の意見を施策に反映させることについて

- ① 若い世代の意見を施策に反映させるために”若者会議“の開催は共感するが、若者が暮らしやすい、住んで良かったと思えるまちづくりのために、浜田の広報紙を活用した全戸への「まちづくりアンケート」を実施してはどうか所見を問う。

(4) 地域おこし協力隊と県立農林大学校との連携について

- ① 農業や林業を目指す若者を地域おこし協力隊で募集し、地域になじんだ2年目から県立農林大学校で一定のスキルを身に付けるという仕組みが、その後、より地域に定着し、定住促進につながるものと考えているが、所見を問う。